



日本医学会だより

JAMS News

日本医学会 2004年10月 No.32

◆第127回日本医学会シンポジウム

「医学・医療安全の科学」をテーマに、2004年8月27日～29日、パレスホテル箱根において開催した。組織委員は、清水孝雄（東大院・生化学・分子生物学）、永井良三（東大附属病院長）、飯塚悦功（東大院・化学システム工学）、上原鳴夫（東北大学院・国際保健学）の各氏であった。

プログラムは、医学研究における安全性、医療安全の課題、医療安全への工学アプローチ、医療安全とシステムの4部構成で行われた。特に、医学・医療のみならず、工学との連携により、安全のシステムの共有化等々が論じられた。

シンポジウムの記録集（謹呈）は、2月頃に刊行予定しているので、希望者は日本医学会宛、郵便はがきで申し込まれたい。

◆第128回日本医学会シンポジウム

「糖尿病と動脈硬化」をテーマに、2004年12月2日（木）、日本医師会大講堂において開催。組織委員は、春日雅人、岩本安彦、永井良三の各氏。参加希望者は、郵便はがきで申し込まれたい。参加費無料。プログラムは、下記のとおり。

I. 疫学と病態生理

1. 糖尿病と動脈硬化：疫学からの視点/清原 裕（九州大・病態機能内科）
2. 動脈硬化の病態生理：糖尿病における特徴/上田真喜子（阪市大・病理病態）
3. 糖尿病による動脈硬化の機序/齋藤 康

（千葉大・細胞治療）

II. 脂質代謝とアディポサイトカイン

1. 糖尿病における血清脂質のコントロール/寺本民生（帝京大・内科）
2. アディポネクチンと糖尿病・心血管病の分子メカニズム/門脇 孝（東大・糖尿病・代謝内科）
3. アディポサイトカインと血管障害/船橋徹（阪大・分子制御内科）
4. プラークの形成と退縮の分子機序/石橋俊（自治医大・内分泌代謝）

III. 糖尿病の循環器合併症

1. 動脈硬化を予防するための糖尿病診療ガイドライン/野田光彦（虎の門病院・内分泌代謝）
2. 糖尿病診療からみた循環器合併症/山田信博（筑波大・内分泌代謝・糖尿病内科）
3. 循環器診療からみた糖尿病/山崎 力（東大・クリニカルバイオインフォマティクス）

◆医学賞・医学助成費の決定

選考委員会を9月8日に開催し、平成16年度の日本医師会医学賞・医学研究助成費の授賞が決定した。

本選考は、日本医師会から日本医学会に委任されており、今年度の推薦数：医学賞19、助成費36を審査した。

選考の結果、11月1日の日本医師会設立記念医学大会において、医学賞は3名、助成費は15

件を授与することになった。

選考の結果は下記のとおり。

〈日本医師会医学賞〉

- ・成人脳における神経幹細胞の同定と中枢神経系の再生医学/岡野栄之(慶應大・生理学)
- ・新規ホルモン, ナトリウム利尿ペプチドとレプチン, の Translational Research/中尾一和(京大・内分泌・代謝内科学)
- ・尿路結石症の病態解明と予防法への応用研究/郡 健二郎(名市大・腎・泌尿器科学)

〈日本医師会医学研究助成費〉

- ・転写因子 E2F-1 の発癌における役割の解明と癌予防への応用/古川雄祐(自治医大分子病態治療研・幹細胞制御)
- ・成体心臓組織幹細胞の細胞株化と心筋細胞への分化の分子機序および誘導因子の解明/永井敏雄(千葉大・循環器内科学)
- ・消化管シグナルによる膵β細胞・脂肪細胞の機能関連とその破綻/山田祐一郎(京大・糖尿病・栄養内科学)
- ・網膜色素変性症に対する人工網膜開発に関する基礎的研究/不二門 尚(阪大・眼科学)
- ・緑内障感受性遺伝子多型の解明と個別化医療による失明予防/真島行彦(慶應大・眼科学)
- ・オレキシン及びノルアドレナリンを指標とした乳幼児突然死候群における覚醒不全の検証/澤口聡子(東女医大・法医学)
- ・動脈硬化進展を抑制する新たな血液凝固調節因子の同定とその臨床応用に関する研究/東博之(徳島大・生体情報内科学)
- ・劇症1型糖尿病患者膵に発現する遺伝子の網羅的検討/今川彰久(阪医大・内科学)
- ・ヒト心筋及び骨格筋から心筋再生医療に用いる心筋幹細胞株の樹立/王 英正(京大・探索医療センター)
- ・HYPOXIA RESPONSIVE ELEMENT を利用した生体内低酸素モニタートランスジェニック

動物による, 進行性腎疾患での虚血状態の意義の解明/南学正臣(東大・腎臓・内分泌内科学)

- ・骨髄幹細胞と生分解性素材を用いた再生血管の作成と臨床応用/新岡俊治(東女医大・心臓血管外科学)
- ・不活化単純ヘルペスウイルスを用いた癌免疫療法の確立と臨床応用/戸田正博(慶應大・脳神経外科学)
- ・発癌機構の解析に基づく Ewing 肉腫の分子標的治療の開発/岩本幸英(九州大・整形外科)
- ・造影剤+超音波による NFκB-decoy-HGF 遺伝子同時導入: 移植腎長期着生の試み/東治人(阪医大・泌尿器科学)
- ・眼光学系および視覚の質に関する定量的解析/大鹿哲郎(筑波大・眼科学)

□日本医学会あり方委員会

今年度, 日本医学会あり方委員会を発足した。現在, 委員会で日本医学会シンポジウム, 日本医学会新規加盟についての見直しを行っている。

シンポジウムについては, 社会との繋がりを目指して, 一般市民への啓蒙活動になることを将来展望としたい。

□専門医制

専門医制については, 広告規制が緩和されたことにより, すでに厚生労働省において, 「専門医資格」の広告が認められている。がしかし, 外形基準を満たした学会の届け出によるその専門医資格が必ずしも, 専門医制を承認されたとはいえない。さらに今後, 専門医制について検討をしていく必要がある。

□情報発信

日本医学会の情報は, ホームページの www.med.or.jp/jams/ をご覧いただきたい。